

2者以上同時発話音声認証システム

ライセンス契約又は共同研究を受けていただき、本発明の実用化を目指していただける企業様を求めます。

本発明は、登録した特定の2名以上が声を揃えて発声した時のみ反応する、話者識別性能が向上した、信頼性の高い音声認証システムです。

◆背景

生体認証は、高度なセキュリティ性、ユーザーの利便性から、認証技術として実用化が進められています。特に、話者認識を用いた音声認証システムは、身体的特徴と行動的特徴の両方を使用するため、他人の盗用が難しいとされ注目されています。しかし、無断で録音された音声や、高度な音声合成技術を用いた人工的な音声を用いてロックが解除されるなど、現在の技術では、セキュリティ上の信頼性に問題があります。また、従来のシステムは、特定の1名の発声に対応するものであり、複数人同時発声認証という高まりつつあるニーズには答えられていない状況です。

◆発明概要と利点

本発明は、登録した特定の2者以上が声を揃えて発声した時のみ反応する音声認証システムです。本発明によれば、2者以上が同時に存在して、かつ協力的であることを判断できます。

また、本発明は、従来技術に比べ、誤認識率が極めて低く、これまでにない信頼性の高いセキュリティを達成できます(表1)。

<本発明の利点>

- 2名が同時に存在することの確認(リベンジポルノの防止)
- 2名同時に発声しても脅迫状態では排除可能
- 一方が録音音声の場合もリジェクト
- 登録した2名が一緒に合言葉を発声したときに動作する玩具への応用

表1 誤認識率

	発話言葉「バルス」
従来手法I	1.3%
従来手法II	0.7%
本発明I	0.3%
本発明II	0.0%
本発明III	0.3%

◆特許情報

【発明の名称】音声認証システム
【特許番号】特許第6833216号
【出願人】
国立大学法人千葉大学
【代表発明者】
黒岩 真吾

◆応用が期待される分野

- ・音声認証システム
- ・セキュリティ関連
- ・各種データの保護
- ・玩具

◆可能な連携形態

- ・音声処理全般に関するコンサル
- ・実施許諾契約
- ・オプション契約(技術検討のためのトライアル契約)
- ・共同研究

◆お問い合わせ先

千葉大学
学術研究・イノベーション推進機構
〒263-8522
千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL: (043)-290-3831
E-mail: beo3566@office.chiba-u.jp



CHIBA UNIVERSITY

